平成 24 年 10 月 4 日

各　位

会　社　名　　北越紀州製紙株式会社
代 表 者 名　　代表取締役社長 CEO　岸本　哲夫
（コード番号:3865　東証 1 部）
問 合 せ 先　　総務部広報担当部長　　柳澤　　誠
（TEL. 03-3245-4500）

株式取得に関するお知らせ

当社（本社:東京都中央区、代表取締役社長:岸本哲夫）は、9 月 14 日付で FINANCIERE BERNARD DUMAS S.A.S（所在地:24100 Creysse France（フランス ドルドーニュ県クレッス）、以下「デュマ社」という）の株式(100%)を、株主であるフランス在ファンドの iXO PRIVATE EQUITY 他から取得しましたのでお知らせいたします。

株式取得の目的

当社はかねてより、洋紙・白板紙・特殊紙・紙加工の4分野を主力事業と位置付けており、昨年よりスタートいたしました中期経営計画「G-1st」におきまして、それぞれの事業分野ごとに積極的に国内事業の強化と国際化による成長戦略を進めてまいりました。

今回当社が株式を取得したデュマ社は、設立が 1924 年で長い歴史と高い技術を有しており、近年ではガラス繊維シート分野の専業メーカーとして事業を展開しています。現在は、ガラス繊維を原料とした鉛蓄電池用セパレータ及び空気清浄用フィルターを製造販売しております。特に、鉛蓄電池用セパレータは同社製品の主力であり、欧州を中心に高いシェアを有しております。従いまして、本件株式取得は、当社において同様の製品を対象とする特殊紙事業分野における国際化による成長戦略の一つと位置付けております。

本件株式取得におきまして、ガラス繊維を原料とするシートという共通の分野において、当社とデュマ社の製品は合計すると全世界的にも高いシェアを占め、世界第2位グループに位置するメーカーとなります。また上記の高シェアを裏付ける優れた品質の基盤である、デュマ社の持つ高度な鉛蓄電池用セパレータ素材の製造技術と、当社のもつ世界に認められた品質の空気清浄用フィルター素材を製造する優れた技術を相互に活用することに大きな意義があり、両社にとって大きなシナジー効果を発現するものと考えております。更にそれらの技術を融合させることにより、新たな技術開発を進めることも可能であります。鉛蓄電池は、自動車用のみならず、データセンターや通信設備等の無停電装置(UPS)や、

太陽光・風力等の再生可能エネルギーの蓄電設備用途に需要が世界的に拡大しております。当社はこうしたグローバルな成長機会を捉えるべく、デュマ社を通じ欧州市場に新規に参入し、更にはデュマ社の技術、ノウハウを活用することにより、当社長岡工場における鉛蓄電池用セパレータの生産、及び国内外への販売を展開していくことを予定しています。また、空気清浄用フィルターについても、両社間の技術、ノウハウを共有しグローバルな成長機会を捉えて参ります。

本案件は特殊紙事業分野における先行的な取り組みですが、当社は他を含めた全事業分野において、国際化によるグローバルな事業展開を積極的に進めていく所存です。

1．DUMAS 社の概要

1）商　　号:　FINANCIERE BERNARD DUMAS S.A.S
2）所 在 地:　フランス ドルドーニュ県 クレッス 24100 (24100 Creysse France)
3）設　　立:　1924 年
4）事 業 内 容:　鉛蓄電池用セパレータ及び空気清浄用フィルターの製造・販売
5）従 業 員 数:　55 名(2011 年 12 月末時点)
6）直近の業績

単位:千ユーロ(億円)

	2009 年 12 月期	2010 年 12 月期	2011 年 12 月期
売 上 高	12,760(12.8)	16,618(16.6)	17,092(17.1)
総 資 産	13,720(13.7)	15,273(15.3)	19,564(19.6)

注)1 ユーロ＝100.22 円(2012 年 9 月 28 日時点)

2．今後の業績に与える影響

本件の平成 25 年 3 月期業績予想に与える影響は軽微なものであります。

以上